

グラアルファ Web カンファレンス

開放隅角緑内障治療のエビデンス R5

日時

2023年4月17日(月) 19:00~20:00

※講演時間中は巻き戻し再生が可能です。(詳細は見開きページ)

演者

神戸大学大学院医学研究科 外科系講座眼科学分野

教授 中村 誠 先生

講演概要

緑内障診療ガイドラインが改訂され、第五版となった。第四版から試みられていたMINDS形式にさらに準拠し、エビデンスを重視する内容となった。治療面で特記すべきは、薬物治療としては、第四版と第五版の間で承認されたEP2作動薬と新たな配合薬の記載の追加であろう。とりわけ、アドヒアランスの観点から配合薬の意義が高まっていることは強調されている。

手術治療としては、低侵襲緑内障手術(MIGS)が脚光を浴びているが、多様なデバイスや術式が乱立し、どの術式が望ましいかのエビデンスは少ないことが指摘されている。

一方、多機関共同比較試験(TramTrac study)で谷戸式マイクロフック線維柱帯切開術(μ TLO)がトラベクトームに非劣性であることが示された。また、 μ TLOが奏功する背景因子に関する研究も蓄積されつつある。

本講演では緑内障診療ガイドラインの改訂の歴史を振り返りつつ、令和5年現在の開放隅角緑内障の治療のエビデンスを概観したい。

視聴方法は見開きページをご確認ください。▶▶▶

Web カンファレンスとは、

- ① インターネットを通じて、ご参加いただけるカンファレンスです。
- ② 講演時間中、インターネットを通じて、随時ご質問を受け付けております。お寄せいただいたご質問は、講演の最後にご回答いただく予定です。